

## 岩手県食育推進計画に関する施策の進捗状況（平成 29 年度）【総括】

## Ⅰ 主要指標の進捗状況

施策区分	主要指標	基準年度 (H26)	目標年度 (H32)	H29 実績
Ⅰ 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進	朝食を毎日食べる子どもの割合 小学校 4 年生	97.4%	100%に近づける	96.5%
	中学校 3 年生	92.0%	100%に近づける	91.2%
	高校 3 年生	88.0%	100%に近づける	86.0%
	肥満傾向のある割合 小学校 5 年生	13.7%	10.6%	12.6%
	中学校 2 年生	10.6%	9.7%	11.2%
	高校 2 年生	11.6%	10.7%	11.7%
Ⅱ 食の安全安心を支える食育の推進	食の安全安心に関する出前講座等の実施回数	141 回	150 回	167 回
Ⅲ 食料供給県としての特性を生かした食育の推進	地産地消促進計画を策定している市町村の数	13 市町村	25 市町村	24 市町村
Ⅳ 地域に根ざした食育の推進	市町村食育推進計画を策定している市町村の割合	97.0%	100%	97.0%

## Ⅱ 施策毎の取組状況と今後の課題

## 施策Ⅰ 望ましい食習慣の形成に向けた食育の推進

## (1) 取組状況

- ・優れた「早寝早起き朝ごはん」運動の推進、「本県の学校における食育の重要な視点」「カミカミ運動」や「希望郷いわて元気・体力アップ 60 運動」の周知、「食育だより」等を活用した家庭への情報提供等を実施。
- ・栄養・健康づくり関係者に対する研修、全ての年齢層に向けた口腔の健康づくりの推進運動等を実施。

## (2) 今後の課題

- ・朝食を毎日食べる子どもの割合は、いずれの学年も改善がみられなかった。今後も児童生徒への指導や家庭への情報提供等、学校・家庭・地域等の関係機関が連携した取組を継続する必要がある。
- ・肥満傾向のある割合については、いずれの学年も横ばい若しくは改善傾向にあるが、全国平均より高い状況にあり、引き続き、肥満予防の取組を継続していく必要がある。

## 施策Ⅱ 食の安全安心を支える食育の推進

## (1) 取組状況

- ・食中毒や食物アレルギー等をテーマにし、リスクコミュニケーションや出前講座等を着実に実施。
- ・食品の安全性に関する情報の周知や、災害発生時の食の安全安心確保に係る取組を実施。

## (2) 今後の課題

- ・食の安全安心推進計画の年度目標に基づく指標は達成しているが、今後も引き続き、食の安全安心に関する出前講座等を実施していくとともに、より理解度が高まる対話重視の講座の実施等により、県民の食の安全安心に関する理解を図る必要がある。

### **施策Ⅲ 食料供給県としての特性を生かした食育の推進**

#### **(1) 取組状況**

- ・「食べよう！いわての美味しいお米。」運動の推進や、食べ残し抑制等 3 Rに係る普及啓発、食の匠の伝承会やイベント等を実施。

#### **(2) 今後の課題**

- ・食の安全安心推進計画の年度目標に基づく指標は達成しているが、今後も引き続き、農林漁業体験などを通じた生産への理解の増進、岩手の食文化の継承や郷土料理の活用等を推進する必要がある。

### **施策Ⅳ 地域に根ざした食育の推進**

#### **(1) 取組状況**

- ・食育月間や食育の日、「いわて減塩・適塩の日」や「いわて短角牛学校給食の日」等を活用した食育の普及啓発、「いわて食育応援団」認証制度の創設と企業等との連携、食育推進県民大会の開催や各種コンクールを活用した広報活動を実施。

#### **(2) 今後の課題**

- ・研修会の開催等による策定支援を通じて、市町村食育推進計画を策定していない市町村の策定を促すとともに、計画期間の更新に留意するよう働きかける必要がある。